

部下の成長を支援し、パフォーマンスを最大化する

管理職のための「1on1ミーティングのスキル習得」研修

セミナーのねらい

「1on1 ミーティング」とは、上司と部下が定期的に行う 1 対 1 の面談のことをいいます。どのように対話を積み重ねていくと部下が育つのか、その具体的方法をコーチングの技術を基に実践しながら学びます。

日時 2026年1月28日(水)10:00~16:30

会場 オンライン(双方向型)

受講料 特別会員 12,100円(税込) 一般会員 23,100円(税込) 非会員 33,000円(税込)

講師 共創コーチング株式会社
取締役 稲垣 陽子 氏



国際コーチ連盟(ICF)認定マスターコーチ
青山学院大学で心理学を専攻。卒業後、プライスウォーターハウス(現:PwC)の上海事務所に中国進出を目指す日系企業のコンサルティングを行う。帰国後、日本でコーチング普及の先駆けとなった株式会社コーチ・トゥエンティワン(現:コーチ・エィ)に入社。営業としてコーチングがまだ日本に浸透していなかった90年代後半から積極的に新規顧客を開拓し、大手企業をはじめ企業の導入実績を上げる。独立後、社長専門コーチとして社長の想いを現実に変えるコーチングを実施。20年のキャリアを重ね、リーダーを中心にコーチングの面談時間は15,000時間を超える。企業の社長のほか、中間管理職やリーダー層、一般社員にもコーチングの対象を広げ、チーム内のコミュニケーション改善と組織の活性化を目指して活動。自分も相手も活かす【共創コーチング】を創設。2014年に設立した共創コーチングスクールは最高峰の国際基準を満たした日本で4社目のコーチングスクールとしてICFから認定されている。(ACTP取得)

講師 共創コーチング株式会社
代表取締役 稲垣 友仁 氏



国際コーチ連盟(ICF)認定プロフェッショナルコーチ
金沢大学教育学部卒業後、三重県公立中学校教諭、小学校教諭を経て、三重県教育委員会へ出向。その後、14年間勤めた公務員を退職し、教職公務員からプロコーチへの転職第1号となる。日本にコーチングが導入されたコーチング元年(97年)からコーチングを導入し、問題児の個性を活かして才能を開花させる奇跡のコーチング手法で、これまでに500人以上の子ども・親に対してコーチングを行なってきた。教育現場を熟知した本格コーチとしては、国内随一の実績を誇る。現在では、各都道府県教育委員会・行政機関・各教育現場に対してコーチングの講演・導入アドバイザーとしても活動中。講演・プロデュース数は年に100本を越え、10,000人以上の教育者・学生達に対してコーチングを伝えている。中学校教諭時は、サッカー三重県代表U-14のコーチも務める。2007年・2008年三重県教育委員会「教育コーチング推進アドバイザー」国立宇都宮大学大学院工学研究科「共創コーチングアドバイザー」

セミナー内容の詳細

1 コーチングとは

- (1) コーチングとティーチングの違い
- (2) コーチングが組織で求められている理由
- (3) コーチングの構造

2 どうして今1on1ミーティングなのか？(講義)

- (1) 職場で人が育つために必要な3つの支援
- (2) 成長する人と成長しない人の違い
- (3) 1on1ミーティング導入のメリット

3 1on1ミーティングの構造(講義)

- (1) 1on1ミーティングが機能する力学的背景
- (2) 1on1ミーティングの4つのステップ

4 1on1ミーティングのスキル(講義・演習)

- (1) ステップ0 リサーチング
面談を効果的に行うために事前にやっておくべき事
- (2) ステップ1 コネクティング
面談が始まったら何を一番最初にやるべきなのか
- (3) ステップ2 インタビュー
部下にスムーズに話をさせる4つの質問
- (4) ステップ3 クロッシング
上司の意見や考え方を部下にスムーズに伝える方法
- (5) ステップ4 エンパワーメント
面談の最後に部下を動機づけて職場に返す方法
- (6) ステップ0 フォローアップ
継続的に部下を支援するポイント

※プログラムの詳細は変更となる場合がございますので、ご了承ください。

お申込みはWEBサイトからどうぞ
セミナー最新情報もご覧いただけます

https://www.hri105.co.jp/seminar_event/detail/?id=421

【個人情報の取り扱いについて】

お客さまの個人情報は、セミナーの運営管理および弊社サービスに関するご案内のほか、利用目的の範囲内で利用させていただきます。なお、個人情報の取扱いおよび利用目的の詳細は弊社ホームページ(<https://www.hri105.co.jp/info/privacy.html>) をご覧ください。

